

---

**【壊れた剣製 broken blade works】**

zerokami00

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

【壊れた剣製 broken blade works】

### 【Nコード】

N74320

### 【作者名】

zerokami00

### 【あらすじ】

言峰 綺礼好き！！

の私が書く士郎君のアナザーパターンです。

士郎君が言峰みたく黒鍵で戦つたり！

士郎君が言峰みたく神に使えたり！

士郎君が言峰みたく激辛麻婆！食べたり！！  
します。

壊れた剣を世界にする。投影できる剣は1つ

神に使える神父。言峰

その名を知らぬ者はいない

笑顔が目立ち他人思いで自分は後回しでみんなの人気者。

ただ、時々だが・・・彼の表情は他を恐怖へと落とす

full nameは【言峰 士郎】

眼鏡を掛けた神父服の学生

「この塊は・・・壊れた剣で出来ている」

話をしよう。

言峰 士郎について

彼の名で連想されるモノは人の血。

我々はそれしか見たことがない。

誰でも最初の彼の笑顔の仮面には騙された。

だがひと度仕事になるとその表情は冷酷で残忍なモノへと変化した。

黒鍵と銃を使い彼は人を殺す。

嫌、あれは殺すとは言わない。

彼は当たり前のように引き金を引く、それはまるで食物連鎖のように

「ハア、ハア」

自室では私はそれを書き終えた。疲れた・・・酷く

「こんばんわ・・・裏切り者さん」

今日も彼は当たり前のように私のような愚かな者を追い詰め、銃口を突き付ける

深夜、その銃声は街に響き渡った。詰まる所、私たちは彼を知りえない

「どうか・・・死の安らぎが貴方にあることを・・・アーメン」

今日も人は殺される。悲しい、悲しい・・・死神は今日も楽しそうに笑うのだ。

体は壊れた剣で出来ている。

鉄は錆び、硝子はひび割れる

幾度の墓標を築き、壊れ

ただ一度の揺るぎも

ただ一度の悲しみもない

彼はここに一人、幾度の墓標を背負う

その体は壊れた剣で出来ていた。

それは固有結界

大魔術なり

だがこれは真似事にすぎない。

体はわかっているても使い方を知らないのだから・・・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7432o/>

---

【壊れた剣製 broken blade works】

2011年10月8日04時40分発行